



練馬区立石神井東小学校

平成 29 年度

学 校 便 り

12 月号

校長 赤尾 眞司

子供の学び

校長 赤尾 眞司

11月17、18日は、本校の学芸会でした。当日は、保護者の方をはじめ、たくさんの地域の方々にもご参観いただきました。本当にありがとうございました。体育館が満員になる様子を見て、改めて保護者・地域の皆様方の学校に対する期待を感じられうれしくなりました。

限られた時間での練習でしたが、日ごろの学習の集大成として十分に力を発揮できた学芸会でした。役になりきって大きな声で話す、見ている人を意識して話す、目立たない役割でも全力で取り組み、協力してつくり上げていく、どれも学芸会で狙っている大事な目標です。子供たちはその目標に向けて、一生懸命に取り組んでくれました。そのことが、見ている人をわくわくさせ、見応えのある仕上がりになりました。学芸会のような行事を通して、子供たちは大きく成長します。

学校では、毎日の授業の充実に最も力を入れて取り組んでいます。子供たちにとって、授業が楽しいと感じられるのはどんなときなのか、1時間の授業で子供たちが充実感や達成感を感じられるのはどんな授業なのか。私たち教師にとって、継続して追求していかなくてはならない課題と考えています。子供が楽しいと感じられる授業、その第1は、子供が分かったと実感できる授業です。さらには、自主的に参加していると思える授業ではないかと考えます。教師は常に、そのような授業を目指しています。

本校は、平成28・29年度、練馬区教育委員会教育課題研究校指定校の指定を受け、この2年間研究に取り組んできました。今年度の研究のテーマは、次のように設定しました。

『価値ある学びを実感できる児童の育成～算数科・社会科の学習を通して～』

本校では、毎年児童アンケートを行っています。その結果を分析すると、「話を聞くこと」「考えを話すこと」を苦手とする児童が多いことが分かります。また普段の授業の中で、学習に意欲がもてない児童が見られることも課題となってきました。そこで、「学習態度を変容させる」ことが児童一人一人の学びの質の向上につながると考え研究を進めてきました。児童に対しては「交流を通じた学習」を試行することが有効であると考えました。また、私たち教師にとっては、教師主導になりがちな学習指導から教師自身が意識を変え、子供一人一人の力に応じた学習の展開を図り、学ぶ意欲を高めると共に、楽しく、分かる授業づくりに視点を当てていく必要があると考えました。「子供と共に授業をつくる」そのような意識をもって、子供たちとしっかりと向き合い、子供たちの考え方を意識した学習づくりが出来るようになってきたのではないかと考えています。

平成30年1月18日(木)には、2年間の研究の成果を発表するために、研究発表会を開催いたします。当日は、低学年と高学年が算数の授業を、中学年が社会科の授業を公開します。区内外の学校から大勢の先生が来校いたしますが、保護者や地域の皆様にも本校の研究の一端をご覧いただければと思います。午後1時40分から授業を開始します。是非ご参観ください。

なお、当日は研究発表会となりますので、小さいお子さんと一緒のご来校はご遠慮ください。子供たちは授業終了後下校となります。保護者と一緒の下校をお願いいたします。

「いじめ、暴力」をゆるさない

本校では、日頃から子供たちが元気で楽しい学校生活を送れるように、保護者の皆様と協力して全校体制で取り組んでいます。11月は、練馬区小中学校一斉のふれあい(いじめ防止強化)月間でした。ふれあい月間の実施に関連して、今年度は「いじめ防止シンボルマーク」作りに取り組みました。各クラスで考えたシンボルマークの中から、全校で投票して代表作品を選びました。

「心のやさしい子、友達を大切にする子、何ごとにもがんばれる子」の育成を目指して、指導を進めています。ご家庭でもお子様の声に是非耳を傾けてください。学校での出来事などをじっくり話し合う時間をもつとともに、人を大切にすることや暴力はいけないということについてご確認ください。その上で、何かお子さんについて心配なことがありましたら、いつでも、どんなことでも学校に相談してください。